

金剛寶戒寺便り

十月一日発行 第十九号

檀信徒の皆さまこんにちは。お彼岸も過ぎて朝晩はめつきりと寒くなつてまいりました。関東、東北地方での記録的な大雨による災害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。皆様のご家族やご親戚、ご友人で被災された方はいらつしやいませんか？

時として我々は無条件に全てを受け入れる事しか許されない場合があります。それは自然災害しかり、愛別離苦しかりでございます。その様な時に宗教が仏教が我々寺族が少しでもお力になれたらと強く思います。

九月八日に耶馬溪の弘法寺住職 吉武隆善さんをお迎えして法話の会を行いました。「より良い人になるために」という講題のもと四〇名以上の方が熱心に聞き入っておられました。マイクの用意もしていたのですが、それも必要のないほどに発刺とコミュニケーションを交えながらの講演でした。

今回はお話の内容を記載しませんが、法話に限らず、直にライブでお話や音楽などを聞くという事は非常にエネルギーをもらえます。その時、その場だけでも元気になれたらと思います。基本的には毎月八日に行っております。ご供養だけでなく「より良い人生をおくるために」をモットーに開催しています。無料でご参加頂けますので、お墓参りなどと合わせてお気軽にお越し下さい。

九月号に続き「仏前のおつとめ」（仏前勤行次第）の説明をさせて頂きます。三帰三竟の次は十善戒です。

弟子某甲 尽未来際

不殺生 不偷盜 不邪淫 不妄語 不綺語
不悪口 不両舌 不慳貪 不瞋恚 不邪見

意識すると「ここに、仏さまの弟子となつた私は、いついつまでも十の戒めを守ります」と誓います。十の戒めとは、三業（身口意）の行いを戒める教えです。

●身業（しんごう）

不殺生（ふせつしょう） 必要以上の殺生はいたしません。

不偷盜（ふちゆうとう） 人から与えられていないものを自分のものにしません。

不邪淫（ふじやいん） 不倫をしません。

●口業（くごう）

不妄語（ふもうご） 嘘をつきません。

不綺語（ふきご） 中身の無い言葉、おべんちやらを言いません。

不悪口（ふあくく） 悪口を言いません。

不両舌（ふりょうぜつ） 他人を仲違いさせるような二枚舌をしません。

●意業（いごう）

不慳貪（ふけんどん） 異常な程の欲を持ちません。

不瞋恚（ふしんに） 異常な程の怒りを持ちません。

不邪見（ふじやくけん） 間違つた見解をしま

せん。（間違つた見解とは、因果応報や輪廻転生の否定を指します。）

仏教では「行い」を「身・口・意（心）」の三つからなると考えて、それぞれの戒めを守るように教えています。「口は禍の元」とも言いますが、口業が四つあるのは納得です。

十一月八日（日曜日）午後三時から

金剛寶戒寺本堂に於いて

講師 西村慶治さん

『夢』で育む『生きる力』

「あなたの一歩で、可能性が広がる」先月に引き続き西村慶治さんに講演をお願い致します。

社会の変化が激しい昨今、また、少子化・高齢化も進む中で、心豊かに過ごすことや次世代の健全育成について、一緒に考えてみませんか？子育て中の方、周りの人とのコミュニケーションを取るのが苦手な方等など・結婚式のお仲人をして頂いたお坊さんに

「十善戒を守れば寛りをひらけるよ」と言われた言葉を今でもおぼえています。「良いことをしましょう！」では無く、「悪いことは止めましょう！」の方がより実践的ですね。

何事にも程々が肝心ですが十善戒はまさに日常生活で出来る修行です。皆さんも共に菩薩行に励んでみませんか。

当山、墓地におけるゴミの分別へのご協力有難うございます。感謝申し上げます。合掌